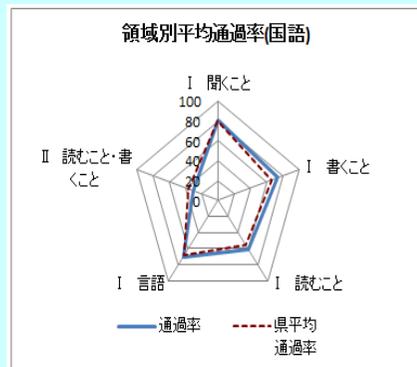
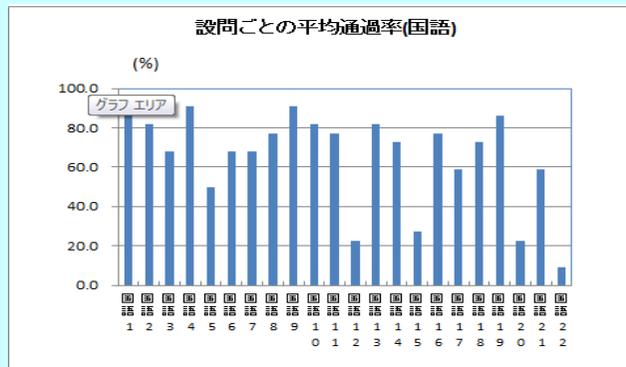


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 65.3%, 県 63.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- 全体的な傾向について  
タイプⅠは、70.8%、タイプⅡは、30.3%の通過率である。
- ・学習指導要領の領域「読むこと」に関する問題の正答率が低い。(60.6%)
- ・タイプⅡの問題の正答率が低い。
- ・問題の形式としては、「記述式」の問題の通過率が低い。
- 昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
昨年度、「書くこと読むこと」の領域「情報を取り出し、情報を関係付けて記述する」問題と「情報を取り出し、理由や事例を挙げて記述する」問題で通過率が低く、複数の資料から必要や情報を取り出し、まとめて「書く」活動を多く取り入れたが、通過率が低かった。

## 重点課題

### 【課題1】

「書くこと読むこと」の領域で、「複数の資料から必要な情報を取り出し、それらと関係付けて論理的に説明することができる。」ことを問う問題で通過率が 9.1%と低い。

### 【課題2】

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、「主語と述語との関係をしめすことができる。」ことを問う問題で通過率が 22.7%と低い。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

- ・複数の資料を関連づけて考えるような課題を授業で設定する。
- ・初見の文章(新聞記事・意見文など)を読ませ、要点をまとめる活動を通して、大切な部分を読み取る力、資料から分かることを選ぶ力を身につけさせる。

### 【課題2】

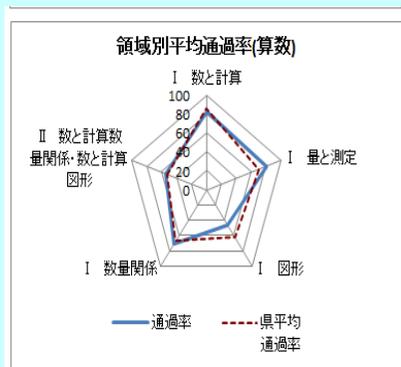
- ・主語、述語の関係を意識した条件に合う文章を書かせる。  
例・書き出しを書いておき、続きを書かせる。・放送など生活場面で正しい表現が使えるよう指導する。
- ・段落を意識させ、3段落構成で文を書かせる。「3段落日記」など

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

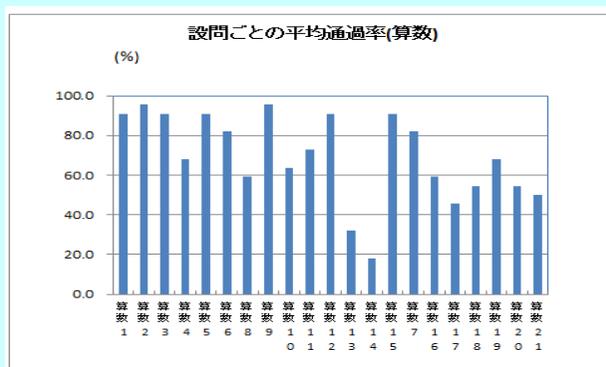
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 69.3%, 県 69.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

○全体的な傾向について  
 タイプⅠは、73.9%、タイプⅡは、54.5%の通過率である。  
 ・「図形」領域に関する問題の正答率が低く (18.2%)、作図に用いられている図形の約束や性質を理解していない。  
 ○昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
 ・昨年度は、与えられた条件から、示された解決方法を理解し、筋道立てて考えて表すことに課題があった。算数的用語をおさえるなどの指導を行い、自分の考えや学習のまとめを自分の言葉でノートに書く活動を取り入れるなどの取組を行った。また、ペア活動を取り入れ、自分の考えを筋道立てて説明させることを行った。しかし、今年度も記述する問題の正答率が低かったため、課題が残った。

### 重点課題

#### 【課題1】

「図形」の領域の「作図に用いられている図形の約束や性質を理解している。」ことを問う問題で通過率が18.2%と低い。

#### 【課題2】

「数と計算、数量関係」の領域の「目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について適切に判断することができる。」ことを問う記述問題で通過率が50.0%と低い。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

#### 【課題1】

- ・図形の定義や性質を授業でおさせる。
- ・条件付きの問題から作図する活動を仕組む。
- ・身の回りの図形に目を向けさせ、図形についての感覚を豊かにさせる。

#### 【課題2】

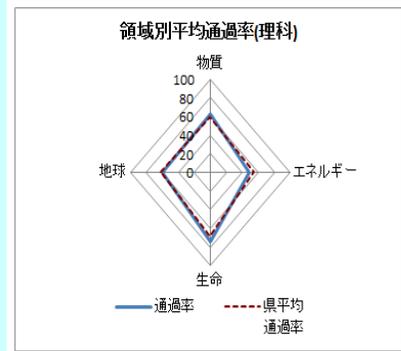
- ・自分の考えを図や式、言葉を用いて書き、説明する活動を取り入れる。
- ・グラフや表などの資料から分かることを明確にさせ、「まず」、「次に」、「だから」などの接続詞を用い、ある事象や結果の理由を説明させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

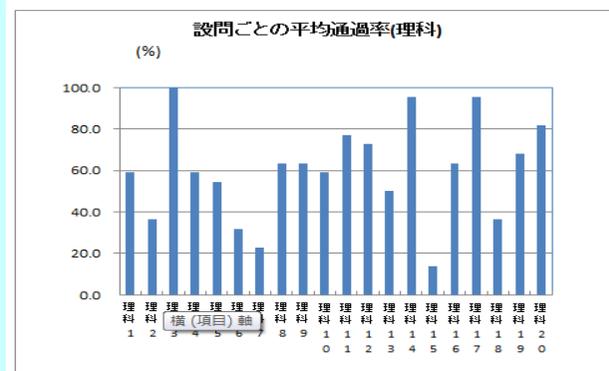
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 60.2%, 県 60.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

○全体的な傾向について  
 タイプⅠは、71.0%、タイプⅡは、40.3%の通過率である。  
 ・領域「エネルギー」に関する問題の正答率が低い。(48.2%)  
 ・評価の観点「科学的な思考・表現」の正答率が低い。  
 ・タイプⅡの問題の正答率が低い。

○昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
 ・昨年度は、学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに課題があった。単元のまとめで、生活と関連付けて、身の回りで起きている現象を取り上げ、学習したことが児童の身近な生活場面でのどのように生かされているのかを考えさせるようにし、既習の知識・技能を使って自分の言葉で説明させる学習を取り入れたが、本年度の結果からみても、十分とは言えない。

## 重点課題

- 【課題1】  
 「地球」の領域の「正午にかげがでる位置を太陽の動きから推測することができる。」ことを問う問題で通過率が13.6%と低い。
- 【課題2】  
 「エネルギー」の領域の「物質の磁石に反応したりしなかったり、電気を通したり通さなかったりする性質を複合的に考えることができる。」ことを問う問題で通過率が22.7%と低い。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】  
 ・実験、観察後に記述させたいキーワードや内容を明確にし、まとめの文章を書かせる。その時には、根拠を明確にさせ、科学的に説明する力を高める。
- 【課題2】  
 ・磁石と電気の性質を混同しているので、「自学ノート」に既習事項をまとめさせ、知識、理解の内容の定着を図る。

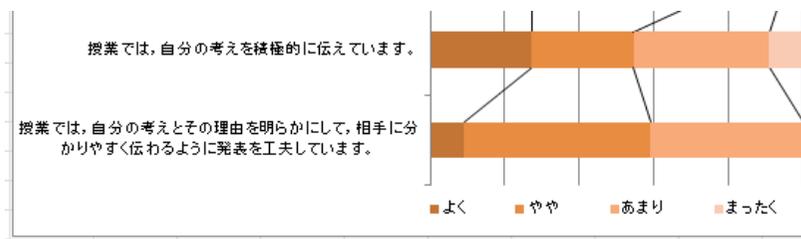
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	全学年 単元末テスト	4年生 H26「基礎基本」	全学生 標準学力テスト	4年生 H27「基礎基本」	全学年 学年末テスト
目標値	85%	85%	85%	80%	基準値を超える児童80%	80%	85%
実施後数値							

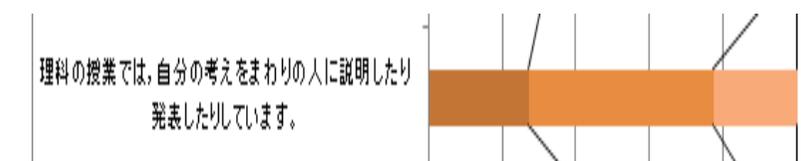
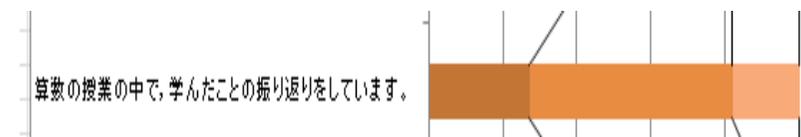
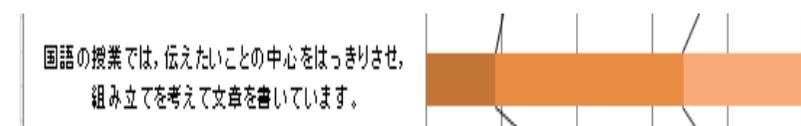
質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習



児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業では、自分の考えを積極的に伝えています。」</li> <li>「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表しています。」</li> </ul> の肯定的回答が低い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで自分の考えを説明させ、発表させる機会を増やす。</li> <li>自分の考えを述べる時には、常に相手意識を持たせ、理由を明確にして発表させる。</li> </ul>	3年生以上	80%以上	児童アンケート調査による	2月		

(2) 教科



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことの中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いていない。（肯定的な回答%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語、述語の関係を意識した条件に合う文章を書かせる。例・書き出しを書いておき、続きを書かせる。</li> <li>放送など生活場面で正しい表現が使えるよう指導する。</li> <li>段落を意識させ、3段落構成で文を書かせる。「3段落日記」など</li> </ul>	3年生以上	80%以上	児童アンケート調査による	2月		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、学んだことの振り返りをしている児童が少ない。（肯定的な回答%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の終末に本時のまとめをノートに書かせ、授業を振り返る。</li> </ul>	3年生以上	80%以上	児童アンケート調査による	2月		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている児童が少ない。（肯定的な回答%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで自分の考えを説明させ、発表させる機会を増やす。</li> </ul>	3年生以上	80%以上	児童アンケート調査による	2月		